

## 病虫害情報 要周知

奈 病 防 号 外  
令和3年8月20日

関係機関長 殿  
病虫害防除員 殿  
調査員・情報員 殿  
農業資材販売等関係者 殿

奈良県病虫害防除所長

### 病虫害情報の送付について

このことについて、下記の通り発表しましたので、送付します。  
周知を徹底するとともに、適正・安全な防除について御指導をお願いします。

### 令和3年度農作物病虫害情報（第4号）

対象作物：水稲  
対象病虫害：いもち病

#### 1. 予報の根拠

(1) 令和3年8月17日に巡回調査した結果、中山間地域、平坦地域ともに平年より多い発生が認められました。

中山間地域（穂いもち）： 発生ほ場率：25.7%（平年20.7%、前年23.1%）  
発病株率： 1.4%（平年1.3%、前年2.6%）

平坦地域（葉いもち）： 発生ほ場率：16.7%（平年5.9%、前年2.0%）  
発病株率： 0.4%（平年0.2%、前年0.02%）

(2) 中山間地域では穂いもちおよび上位葉での葉いもちの発生が、平坦地域では上位葉での葉いもちの発生が確認されていますので、今後、天候不順が続くと穂いもちが多発する可能性があります。

#### 2. 防除上の注意事項

(1) ほ場によっていもち病の発生状況が異なるため、ほ場を見回り発生状況を確認して下さい。発病株率5%以上の場合は防除を行って下さい。

- (2) 穂いもちの防除は、出穂前に実施して下さい。
- (3) 上位葉で葉いもちが多発している場合および穂いもちが発生している場合は穂ぞろい期（出穂期の約5日後）に液剤で追加防除して下さい。傾穂期以降の防除は効果が劣ります。
- ※防除薬剤は下表を参考にして下さい。

### 3. その他の注意事項

- (1) 感染した種もみは次年度の主要な発生源となります。発生ほ場では種もみを取らず、種子更新を行って下さい。
- (2) 農薬を使用する際には、ラベルに記載された登録の有無、収穫前使用日数や使用回数を確認するとともに、止水期間を遵守して下さい。
- (3) 水面施用粒剤や豆つぶ剤を使用する場合は、湛水してから処理し、散布後7日間は落水、かけ流しをしないで下さい。
- (4) ほ場周辺への薬剤飛散防止に努めて下さい。風の強い日は散布を控え、散布する場合であっても風向きに注意し、収穫期に近い他作物へ飛散しないようにして下さい。

表 穂いもち病に対する主な防除薬剤（令和3年8月11日現在の登録状況）

農薬名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	有効成分	FRAC コード
イモチエース粒剤	3kg/10a	収穫35日前まで	1回	メトミノストロ ピン	11
コラトップ粒剤5	3~4kg/10a	出穂30~5日前まで	2回以内	ピロキロン	16.1
コラトップ豆つぶ	250~375g/10a	出穂30~5日前まで	2回以内	ピロキロン	16.1
ゴウケツ粒剤	3~4kg/10a	出穂5日前まで但し、 収穫30日前まで	1回	トルプロカルブ	16.3
ブラシンフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	フェリムゾン フサライド	U14 16.1
ラブサイドフロアブル	1,000~ 1,500倍	収穫7日前まで	3回以内	フサライド	16.1



写真 葉いもち病斑



写真 穂いもち病斑

お問い合わせは

**奈良県病害虫防除所** TEL. 0744-47-4481

その他関連情報は以下をご覧ください

**病害虫防除所ホームページ** <http://www.jppn.ne.jp/nara/>

**奈良県農業情報システム（農作物病害虫・雑草防除指導指針）**

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/nara>

